

校外学習で宝物発見？

9月19日(水)に校外学習を実施しました。当日は雲一つ無い晴天に恵まれました。学年主任からは、博物館や美術館で自分の感性にビビッとくる作品や、一緒に行動する友達の「こんな一面もあったんだ」という「宝物」探しの一日にしてほしい、とお話ししました。公共交通機関を乗り継いで、中学生同士で目的地へ向かうのも、初めての体験という生徒も多かったと思います。こっちの道でいいのか、プラットフォームはここでいいのか、と不安な気持ちもあったでしょうが、グループの協力で乗り越えられたと思います。全員が遅れることなく、自主研修の行程を終えて東北歴史博物館へ到着しました。東北歴史博物館では、少し時間が足りないと感じるくらい一所懸命に展示を見学しました。多賀城史跡では、暑くて疲れていたと思いますが、ボランティアガイドさんの話に真剣に耳を傾けました。多賀城が焼き払われた跡が、千数百年の時を経た今も東石に残されていると聞き、驚きましたね。



生徒たちは、今回の校外学習や、2回の郡山遺跡の学習について、個人新聞でまとめる学習に取り組んでいます。今回の経験を、今後の生活や学習に生かしてほしいと思います。今回の校外学習にあたって、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

いじめ防止プログラムを実施しました

9月20日(木)～21日(金)に、早稲田大学から中村玲子先生をお招きし、いじめ防止プログラムを実施しました。このプログラムは、いじめを見かけたときに、どのような方法で止めることができるのかを考え、練習することで、いじめを防止することがねらいです。

生徒たちは、ロールプレイ(役割演習)を行い、いじめ役やいじめられ役、止め役、傍観者役等を見事に演じました。迫真の演技で、生徒達も真剣な表情で、どうやっていじめを止めることができるのか、自分には何ができるのかを考えていました。

いじめがある学級では、直接いじめに関わらなくても、傍観者が多いことが指摘されています。傍観者とは言っても、「いじめを止めたいけどどうしたらいいのか分からない。」とか「自分もいじめられるのがこわいから止めたくても止められない」という葛藤を抱えている場合もあります。



今回の練習を通じて、いじめを止める方法や勇気、相談の仕方を少しでも身に付けることができたら、と思います。今後も、様々な方法で、いじめがなく居心地のよい学級・学年づくりを進めて参りたいと思います。